

学生の確保の見通し等を記載した書類

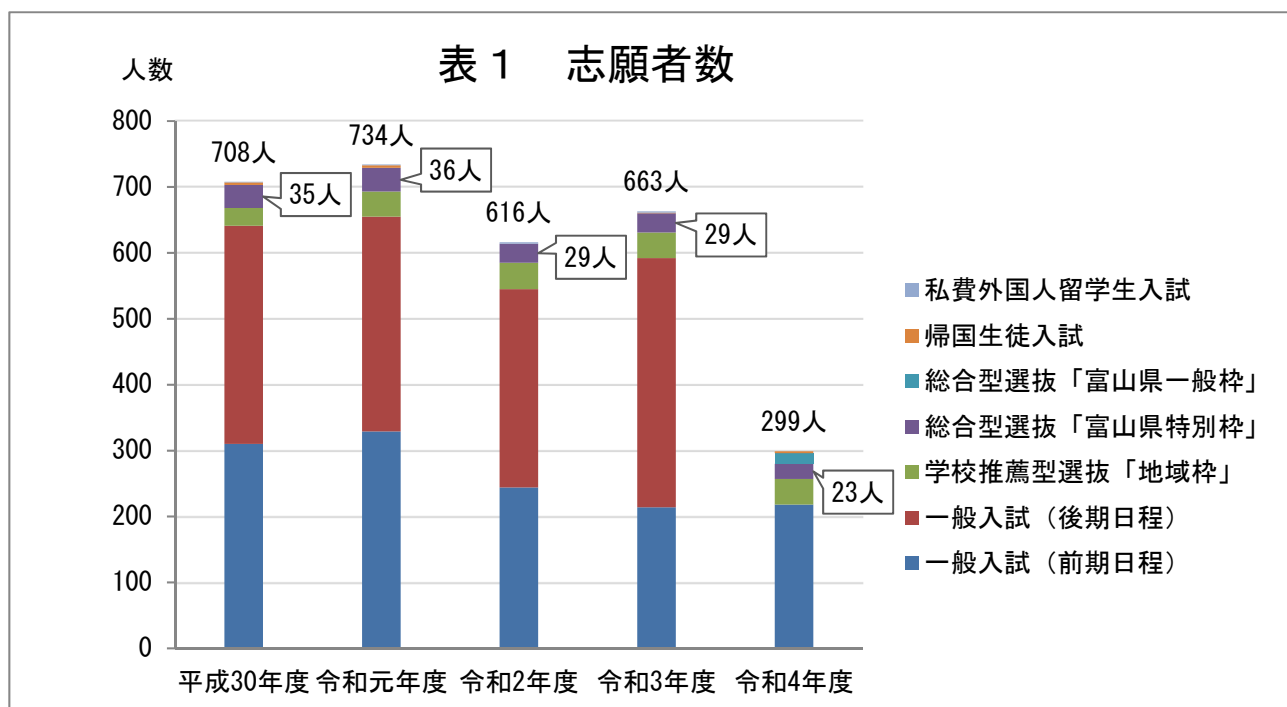
富山大学医学部医学科の平成21年度以降の入学定員については、平成21年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成29年度までの期限を付した5名の臨時定員増を、また、平成22年度に「地域の医師確保の観点からの増」に基づき平成31年度までの期限を付した5名の臨時定員増を、平成29年度に期限を迎えた5名に対する平成31年度までの臨時定員増を、平成31年度に期限を迎えた10名に対する令和4年度までの臨時定員増をそれぞれ実施し、現在の入学定員は105名である。

令和4年度を期限とする10名の臨時の入学定員について、引き続き令和5年度に入学定員増を再度行った場合においても、過去5年間の入試において安定した志願者数、受験者数、入学者数を確保していることから、学生を充分確保することができると考えている。

1. 志願者数

志願者数は、平成30年度から令和4年度までの5年間の入試において、増減が生じることはあるものの、安定して志願者を確保している。

令和4年度入試においては、一般選抜後期日程を廃止し、後期日程の定員20名のうち10名を富山県出身者を対象とした総合型選抜「富山県一般枠」として実施したため、平成30年度から令和3年度と比較して医学部医学科全体の志願者の総数は減少しているが、富山県出身者を対象とする総合型選抜「富山県特別枠」等の志願者数は維持されている。

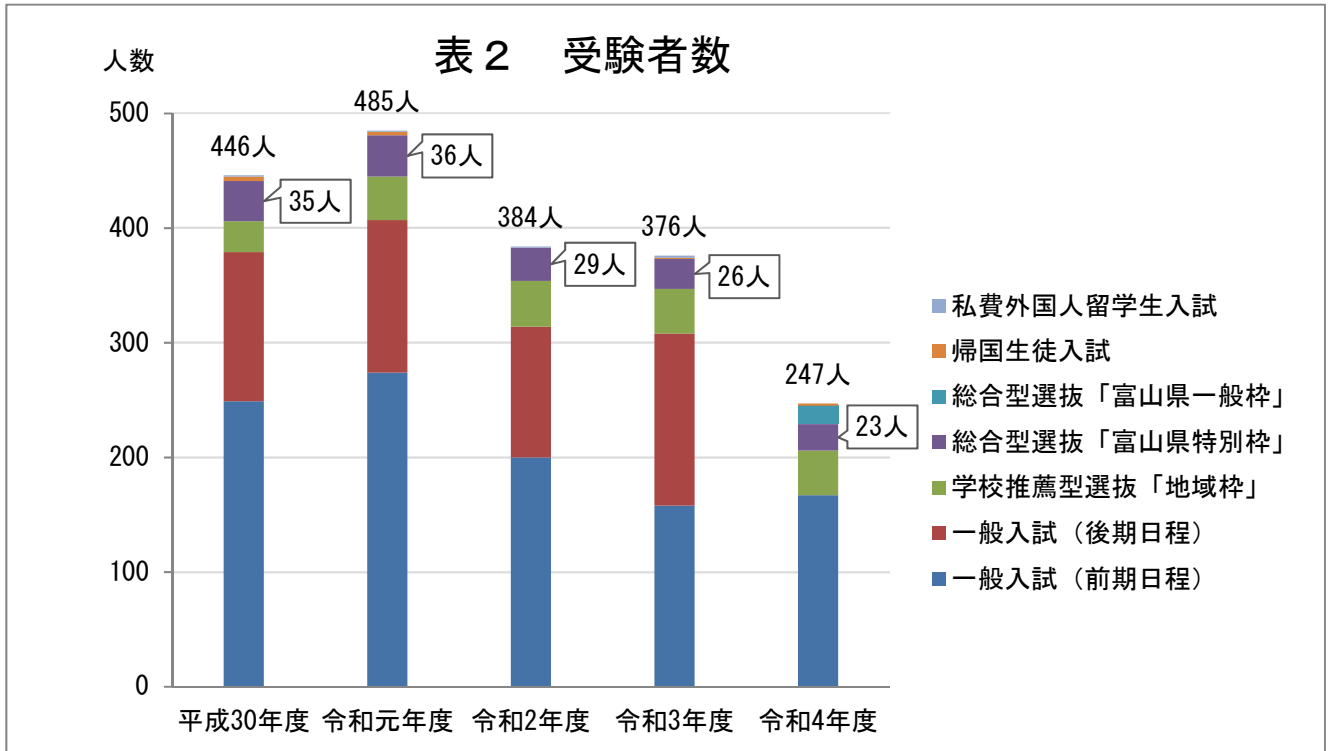


※総合型選抜「富山県特別枠」は、令和3年度までは自己推薦入試「富山県特別枠」として実施。

また、学校推薦型選抜「地域枠」は、令和2年度までは推薦入試「地域枠」として実施。

2. 受験者数

受験者数は、平成30年度から令和4年度までの5年間の入試において、増減が生じることはあるものの、安定した受験者数を確保している。令和4年度入試においては、一般選抜後期日程の廃止により、平成30年度から令和3年度と比較して医学部医学科全体の受験者の総数は減少しているが、富山県出身者を対象とする総合型選抜「富山県特別枠」等の受験者数は維持されている。

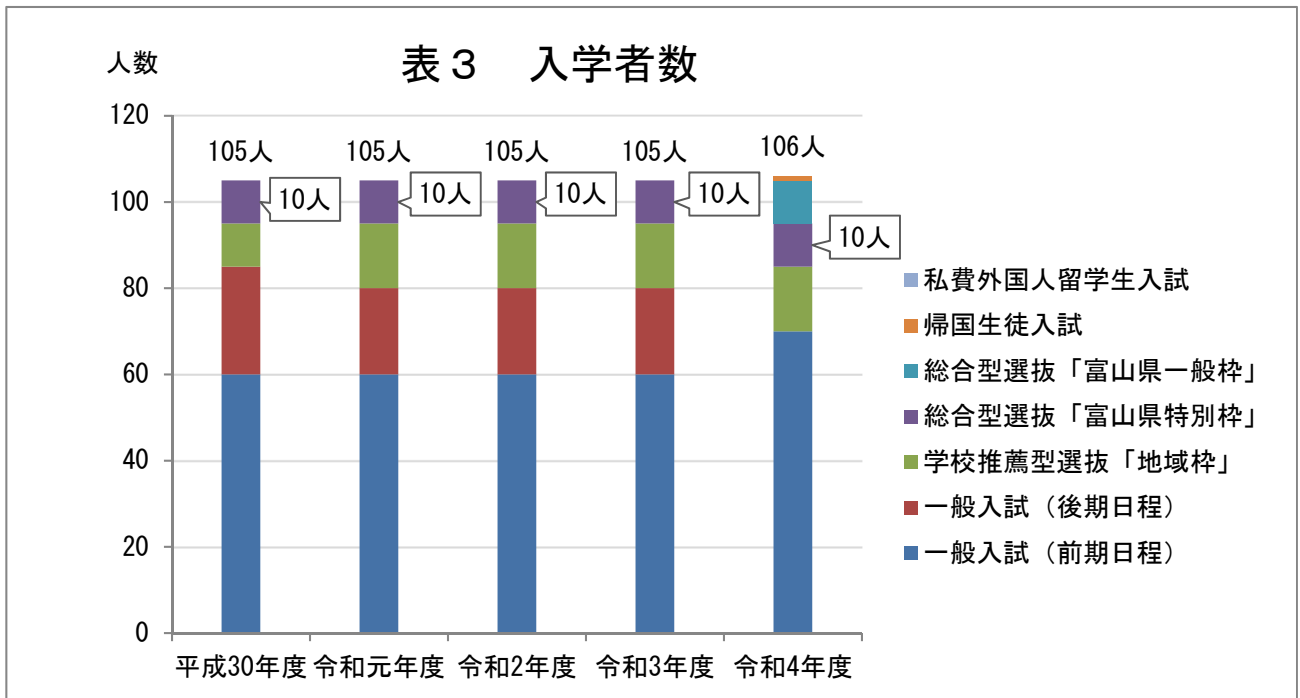


※総合型選抜「富山県特別枠」は、令和3年度までは自己推薦入試「富山県特別枠」として実施。

また、学校推薦型選抜「地域枠」は、令和2年度までは推薦入試「地域枠」として実施。

3. 入学者数

入学者数は、平成30年度から令和4年度までの過去5年間の入試において、入学定員を満たすとともに、入学定員の100%となる水準を維持することで、学修環境の質保証にも努めている。



※総合型選抜「富山県特別枠」は、令和3年度までは自己推薦入試「富山県特別枠」として実施。
 また、学校推薦型選抜「地域枠」は、令和2年度までは推薦入試「地域枠」として実施。

4. 志願倍率等

平成30年度から令和4年度までの5年間の入試において、志願倍率は2.85倍から6.99倍の間で推移し常時2.8倍以上、実質倍率は2.27倍から4.45倍の間で推移し常時2.2倍以上の倍率を確保している。

なお、令和4年度の入学選抜は、一般選抜後期日程を廃止し、後期日程の定員20名のうち10名を富山県出身者を対象とした総合型選抜「富山県一般枠」として実施したため、全体の倍率は低下しているが、前述のとおり富山県出身者を対象とする総合型選抜「富山県特別枠」等の志願者数は維持されていることから学生確保には問題がない。

